

道しるべ



理念 信頼され愛される病院

社会医療法人 愛生会

<http://www.aiseikai-hc.or.jp/>

医療は愛生会

検索



2016年 新年号

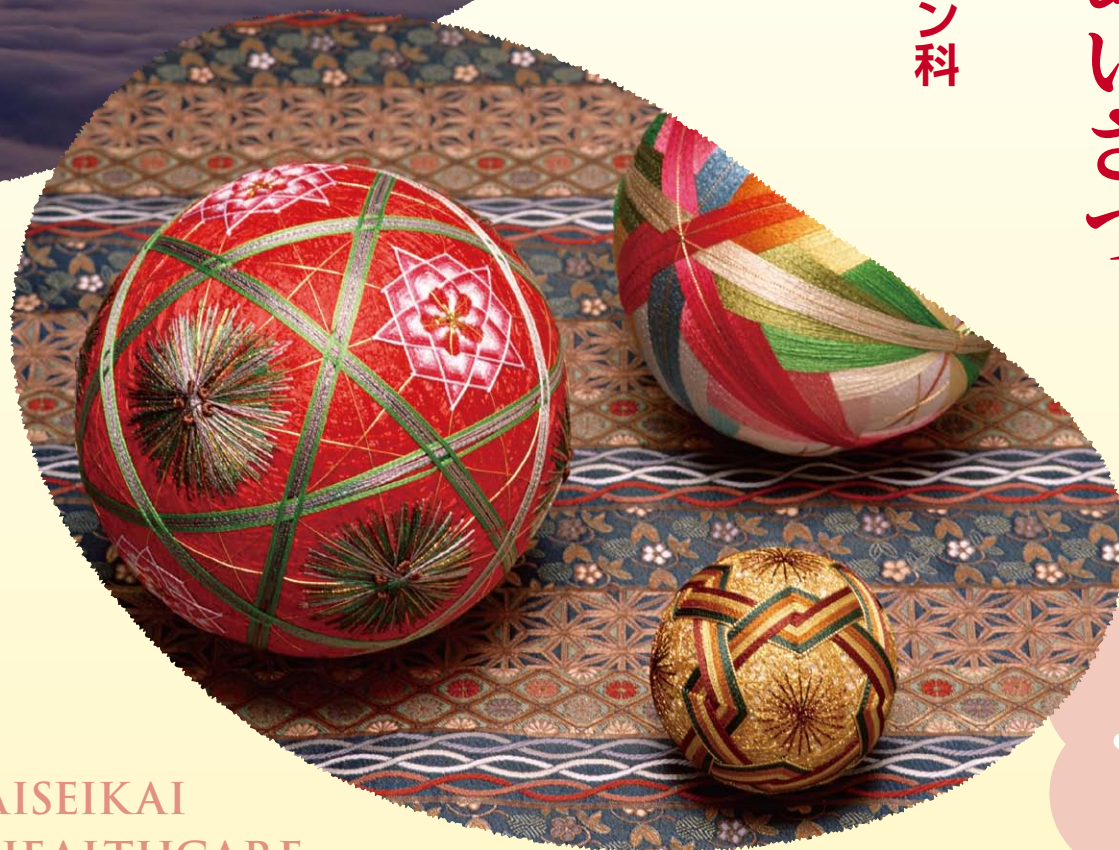
vol. 77

トップメッセージ

新年のごあいさつ

◆診療科のご紹介

リハビリテーション科



AISEIKAI
HEALTHCARE
CORPORATION

◆2016年を迎えて

社会医療法人愛生会

理事長 加藤 知行
かとう ともゆき

昨年(乙未(きのとひつじ)年)は善し悪し含めて何かが芽生えつつある年とされましたが、今年(丙申(ひのえさる)年)は乙未で表面化した問題が、ますます大きくなる年、変革期になる年とされています。そのため、問題を解決する決断力、行動力が必要とされる年になります。

さて昨年の医療界では、高騰する国民医療費の抑制を目的とした地域医療構想の策定が始まり、今年中には都道府県ごとの案が決まる事になっています。この構想では個々の病院機能を明確にするともに、今までのように病気が治るまで病院に入院して治療を受ける「病院完結型医療」から入院治療は必要な分だけを行い、その後は退院して自宅で治療を続ける「地域完結型医療」を目指す、「地域包括ケアシステム」構築が方向付けられています。国はこの目的のために、「チーム医療を推進する」としています。

医師・看護師・薬剤師など、多くの職種が働いている病院は、病院そのものがチーム医療であるとも言えます。しかし現在は、それぞれの職種が他の職種ではできない専門性を発揮し、一人の患者さんの治療に協働して携わることを意味しており、経験年数が違う人の集まりである病院において理想のチーム医療を行うという事は、実はそれほど簡単なことではありません。

これからの医療が「病院」から「地域」「在宅」へ移ることに伴い、患者さんの家族も参加して、地域の医師、訪問看護師、薬局薬剤師、訪問リハビリスタッフ、さらには介護士などとも連携したチーム医療を行うこととなります。問題は病院に勤務する医療者でさえ足りないのに、地域の医療をチームとして担当しなければいけない医療者が、絶対的に不足している事です。

地域包括ケアシステムが実際に機能するようになるには今しばらくの期間が必要でしょう。

社会医療法人愛生会では、急性期、回復期、慢性期、訪問看護・訪問介護が連携して、患者さんの療養のお手伝いをして参りました。これからも、医療提供体制の変化に応じた医療機能を高め、より連携を密にして、地域の皆さまのご要望に応えられる医療を提供できるよう努力して参ります。

あけましておめでとうございます。

本年も社会医療法人愛生会をよろしくお願い申し上げます。

◆一年の計は元旦にあり

総合上飯田第一病院 院長 片岡 祐司
かたおか ゆうじ

一年の計は元旦にあり。昨年は皆さまにとってどんな年でしたか。そして今年は、あるいは、今年こそこうしたいと希望することがあります。私事ですが、昨年5月より院長に就任し、地域の皆さまに信頼され愛される、そして私たち職員が誇りを持って働けるそんな病院づくりを理想に掲げ、がむしゃらに院長として職員とともに働き、早や半年が経ちました。

その私の理想とする病院づくりの考えに、まったく揺らぎはありませんが、今年の具体的な短期目標を考えることとしました。それは二つあります。一つは、泌尿器科常勤医の招へいです。もう一つは老朽化した北館(外来棟)の新築計画です。どちらも今年中に行いたいのですが、北館新築には課題もあり、今年は青写真づくりまでとし、現実にはもう少し未来になりそうです。しかし地域の皆さまにご不便をかけている、泌尿器科常勤医の招へいは現実になりそうです。よりよい病院づくりには、地域の皆さまの声がとても大切です。気になったことがあれば、ご遠慮なく私や職員にお伝えください。

◆新年最初の運試し

上飯田リハビリテーション病院 院長 金森 雅彦
かなもり まさひこ

皆さま、初詣には行かれましたか。初詣でおみくじを引くことには「新年最初の運試し」ということで、平素とは違う特別な緊張感があります。そこは神社の方も気を利かせてなのか、普段よりも吉の札を多く入れている、という話もあるようですが、本当かどうかはわかりません。それに、たとえ凶が出てもそれはそれで、数少ないくじを引き当てる強運だ、という考えもあるようです。いずれにせよ、初詣はお正月のひとつの楽しみであります。

しかし、リハビリでは神頼みは必要ありません。人は地道に頑張ると頑張った分だけ報われる。それがリハビリです。今年もくじの結果に関係なく、それぞれにリハビリを続けましょう。私ども上飯田リハビリテーション病院の職員一同、今年も精いっぱい、皆さまのリハビリのお手伝いをさせていただく所存です。

◆ステップアップ

上飯田クリニック 院長 加藤 優
かとう まさひろ

新年あけましておめでとうございます。私は、毎年このあいさつをする、新たな目標を立て一年かけて達成できるよう頑張っていきたいと思っています。

さて、当院は昨年から通院される方に少しでも長く体力を維持してもらう目的のため体力評価を始めました。

評価項目は、握力や足の筋力を測り、バランス・歩くスピードを評価するという、ごく短時間で簡単に済むものです。約六割の方に参加していただき、「思っていた以上に体力があった、このまま維持していきたい」、「体力維持のために外に出る機会が増えた」などの、お声をいただきました。

今年も当院では、少しでも楽しく通院できるような環境作りをしていこうと目標を立てております。

私達と一緒に透析生活を過ごしましょう。

「再び適した状態にすること」

■リハビリテーションとは？

リハビリテーション(rehabilitation)という言葉を知ると、“痛い”“辛い”“苦しい”というイメージを思い浮かべられる方も多いのではないのでしょうか？しかし、本来のリハビリテーションの意味はRe[再び]+habilis[適した、ふさわしい]+tation[状態]であり、「再び適した状態にすること」を意味し、そのために行われるすべての**援助活動**がリハビリテーション(以下リハビリ)となります。

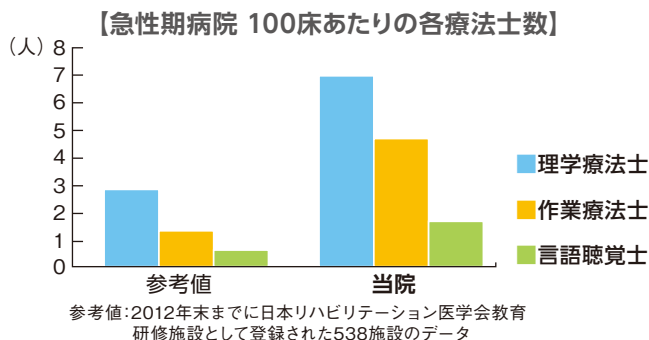
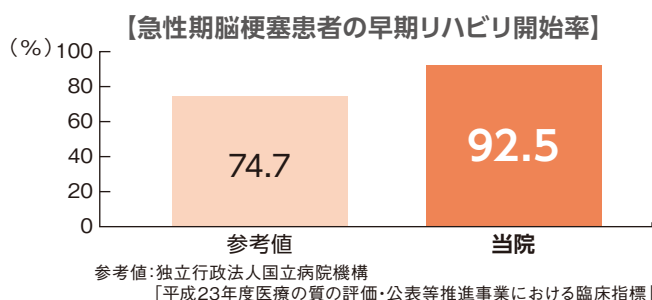


リハビリテーション科部長
さとう しんすけ
佐藤 晋介

リハビリ機能の充実とは？

リハビリが充実している病院とはどのような基準で判断されるのでしょうか？**入院早期からリハビリを行うこと、十分な量のリハビリを行うこと**の有効性が科学的な根拠に基づき認められています。病院機能の指標となるデータにも“急性期脳梗塞患者の早期リハビリ開始率(入院4日以内にリハビリが開始された患者数÷急性期脳梗塞で入院し

リハビリを実施した患者数×100)”などの算出が求められます。早期から十分な量のリハビリを提供するには、スタッフ数の確保は欠かせない要素となってきます。また、評価が難しいところですが、量だけでなく質的な面での環境整備の重要性は言うまでもありません。



当地域の地域包括ケアシステム構築のために



北館地下1階 リハビリテーション室

地域包括ケアシステムというと在宅医療・介護の充実という面だけが頭に浮かぶ方も多いかと思います。しかし、当院に入院されてリハビリを受けられた方の約7割は、他の医療機関を経由せずに直接自宅または施設へと退院されています。

今後益々当院のような急性期病院と地域との連携が重要な要素となってきます。リハビリにおいても一般急性期病棟だけに留まらず、地域包括ケア病棟、外来リハビリ、訪問リハビリ、デイサービス、体力評価等の介護予防などさまざまな業務にスタッフを派遣して、当地域の地域包括ケアシステム構築の一助となるように取り組んでいます。

病院選びの際の基準にも

当院では多職種が連携して患者さんを「再び適した状態にすること」に取り組んでいます。入院の原因となった病気が完治することが優先順位の最上位であることは揺るぎないことですが、病気が完治しても、“一人で外出できなくなった”“介助なしではトイレに行けなくなった”などの状況は患者さんやご家族にとって精神・肉体的な負担ははかり知れないものとなってしまいます。**病院選びの際は入院中、退院後のリハビリ機能・設備の充実もしっかり検討されることをお勧めいたします。**



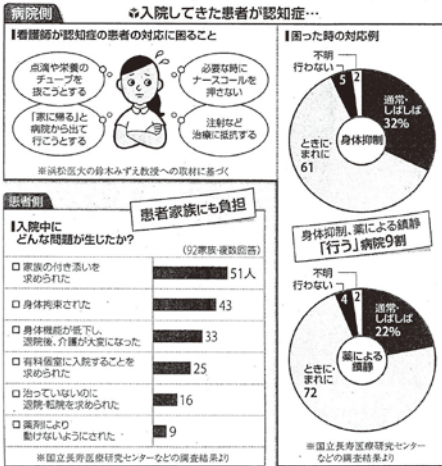
反重力式トレッドミル Alter-G

読売新聞に掲載

平成27年11月8日(日)の読売新聞に掲載された「認知症の患者さんの入院生活」に関する記事で総合上飯田第一病院が取り上げられました。

記事の中で、認知症看護認定看護師の松井千恵は「大切なのは認知症の患者さんに寄り添うこと」、老年精神科部長の鵜飼克行は「認知症対応に力を入れなければ日本の医療は成り立たなくなる」と話しました。

患者の認知症 悩む病院



拘束・薬で鎮静 症状悪化の恐れ

治療に抵抗 徘徊や暴言

認知症高齢者の約5人に1人が認知症で入院している。認知症の患者は、身体機能が低下し、徘徊や暴言、暴行などの症状が現れ、治療に抵抗する。認知症の患者は、身体機能が低下し、徘徊や暴言、暴行などの症状が現れ、治療に抵抗する。

対応できる看護士育成へ
現状を改善しようという取り組みも始まっている。一つは、人材の育成だ。
日本看護協会が、認知症ケアに詳しい「認知症看護認定看護師」の養成を進める。病院側のニーズの高まりで、この3年で2.5倍に増え、657人に達した。さらに、国も病院の医師や看護士向けの認知症研修を始めており、2017年度末までに8万7000人の受講を目標にする。もう一つは、多職種スタッフによる認知症サポートチームの導入だ。14年から取り組んだ愛知県の津島市民病院では、医師や看護士、薬剤師、作業療法士、相談員ら18人で構成する。対応が難しい患者の相談を受けると、薬剤師が薬を見直し、作業療法士が転倒防止や生活リズムを整えるリハビリを行ったりして、入院生活を変える。

総合上飯田第一病院について

環境変化で混乱

名古屋市の総合上飯田第一病院の入院病棟。看護士が見回りに行くと、胆石の手術をした認知症の90歳代女性が、鼻に入っていた栄養チューブを引き抜いていた。別の部屋では、骨折で安静が必要な患者がベッドから起きあがろうとしていた。夜間には、不安になった患者が「助けてくれ」と大声で叫び出し、他の患者から苦情が出た。

「こうした認知症の高齢患者が急増しており、看護士は対応に追われて疲弊しがちだ」。同病院で認知症対応に専従する看護士の松井千恵さんは言う。



患者の話を聞く認知症看護認定看護師の松井千恵さん。病院全体で寄り添うケアを心がけている(名古屋市の総合上飯田第一病院で)

認知症の人は、体の痛みや入院など環境の変化で混乱しやすい。徘徊や暴言などの症状も出やすく、必要な治療を受けられなかったり、他の患者の迷惑になったりすることもある。そのため、治療や転倒防止を理由に、安易にベッドに手足を縛ったり薬でおとなしくさせたりする病院も多いが、かえって症状の悪化を招き、入院が長引くこともある。同病院では、松井さんを中心に担当看護士らと連携し、身体抑制を最小限にとどめている。だが、「大切なのは認知症の患者さんに寄り添うことだと分かっているが、現実には多忙のため難しくジレンマがある」と打ち明ける。

認知症高齢者は現在の約520万人から2025年には700万人に達するとみられており、同病院の鵜飼克行・老年精神科部長は「認知症対応に力を入れなければ日本の医療は成り立たなくなる」と強調する。

第13回 市民公開講座

テーマ

「気になる脳卒中の話」
「脳卒中の予防と治療。あなたは大丈夫ですか」

平成27年9月5日(土)

来場者数

117名

今回は、脳卒中についての講演です。「見やすいスライドでわかりやすかった」「声が大きくて聞きやすかった」という感想を多くの方にいただき大変好評でした。



講師
総合上飯田第一病院
脳神経外科 部長
すみとも まさき
住友 正樹

脳卒中は、寝たきりとなる最大の原因

脳卒中は年々増え続けて、寝たきりになる原因の約34%が脳梗塞と脳出血です。病気を起こす危険因子は、①血圧が高い②血糖が高い③肥満④中性コレステロールが高い⑤HDLコレステロールが低い、の5つがあげられます。

脳卒中は予防できる病気

血圧が高い場合(160/100mmHg以上)と、正常の場合(120/80mmHg以下)を比べると脳出血の危険性は6倍になります。生活習慣の改善や薬物療法ですっきり血圧を下げましょう。血糖コントロール

脳卒中の最新の治療は発症4.5時間以内に治療を開始

ロールは、HbA1cを6%未満が指標になります。禁煙をした場合、脳卒中のリスクは2~4年後から下がり始めます。

軽い症状と見逃してはいけない危険な発作があります。突然、次の症状が起こりすぐに消えたら一過性脳虚血発作(TIA)かもしれません。①片腕の力が「だらんとめけた。②目の半分が「すー」と見えなくなった。③舌がもつれた、呂律が回らなくなった。④歩きづらく片側に倒れそうになった。⑤顔がゆがんで、口元がしびれた。TIAを疑ったら、すぐに専門病院を受診してください。



次回予告

第14回 市民公開講座

無料

日時 平成28年2月27日(土) 13:30開場 14:00開演
会場 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室

テーマ 気になる骨そしょう症の話

「骨そしょう症の原因と予防について」

講師 総合上飯田第一病院
整形外科 部長 長田 洋昇

お問い合わせ・お申し込み

総合上飯田第一病院 総合支援センター 地域医療連携室
TEL (052) 991-3111

あなたの足は大丈夫？

フットケア外来

糖尿病患者さんの足病変予防のためのケアと指導を行います。糖尿病を発症すると、末梢神経障害や運動障害、自律神経障害などの症状が出て、足に傷を作る危険性が非常に高くなる上、動脈硬化もきたすため、足の血流が乏しくなって傷が治りにくくなります。当院では、2010年よりフットケア外来を立ち上げ、足の潰瘍や壊疽を予防するため、糖尿病の患者さんにケアと処置、指導を行っています。

このような症状がある方は
主治医・看護師にご相談ください！

- 足の色が悪い、冷たい
- 足がむくむ、こむら返り
- 少し歩くと足が痛い
- タコ、魚の目、巻き爪、水虫
- 爪の変形、視力障害、麻痺などで爪切りができない

フットケア外来では足浴や爪切りをしたり、足の観察とお手入れの方法、靴の選び方や歩き方などをアドバイスしています。看護師と一緒にフットケアをしながら糖尿病の合併症について考えてみませんか？



糖尿病看護認定看護師

かわい ともこ
河井 智子

フットケア外来は完全予約制です

当院糖尿病内科を受診し、主治医と相談のうえご予約となります。

対象となる方	糖尿病がある方・足病変がある方
外来日	月・火・水・金曜日 14:00~16:00
所要時間	30分~1時間程度
場所	内科外来のフットケアコーナー

詳しくお聞きになりたい方は
▶総合上飯田第一病院 内科外来 TEL (052) 991-3111





整形外科 つのだクリニック

診療科目

整形外科・リウマチ科
リハビリテーション科



院長 角田 賢二

開業の経緯

愛知県済生会病院で研修を含め3年間お世話になりました。その後、豊橋市民病院3年、名古屋大学医学部付属病院分院4年、その後再び豊橋市民病院4年、愛知県厚生連昭和病院に4年間それぞれ勤務させていただきました。この頃から、そろそろ開業を考え始め、平成14年に開院しました。



診療の傾向

心がけていること

- ①お話を十分にお聞きし、受診目的を正確に把握する。
- ②視て触って診察する。
- ③患者さんに今の状態を分かりやすく説明し、相談して治療をしていく。

腰痛、膝痛、手指痛では関節の動かし方の指導で診察中に痛みが軽減することを経験しています。手、膝、足関節などでもテーピングを工夫しています。

皆さまへのメッセージ

“いつのまにか骨折”が最近特に増えています。バランスよく食べ、閉じこもらず、屋外にいる時間を作ってください。歩くだけでなく、下肢の筋力をつける運動やバランス感覚をつける動作をしてください。詳しいことは、かかりつけの医師にお聞きください。



〒486-0955 春日井市二子町2-10-12
TEL (0568) 33-3552

診療時間／午前9:00～午前12:00
午後4:00～午後7:00

休診日／木曜午後、土曜午後、日曜、祝日



上飯田リハビリテーション病院 回復期リハビリテーション病棟

入退院の相談窓口です！

地域医療連携室

看護師1名、医療ソーシャルワーカー3名が配置され、急性期病院からの入院相談、退院などに関わる生活問題についての相談を行っています。

医療ソーシャルワーカーは社会福祉の立場から経済的、心理的、社会的なご相談に応じ、患者さん、ご家族との面接を通して問題解決をめざします。

入院相談の窓口として

入院に関しては、急性期治療を終えられ、家庭復帰や寝たきり防止を目的とした回復期の集中的なリハビリテーションが必要な方が対象となります。下記のような疾患が対象となります。

安心して自宅に戻れるように…退院に関する相談窓口として

入院される1人の患者さんに1人の医療ソーシャルワーカーが担当いたします。例えば、左記のような場合のご相談の際にご利用ください。

- 介護保険について知りたい。
- 身体障がい者手帳について知りたい。
- 施設に入所したい。
- 手すりの設置や段差の解消など、宅改修を希望したい。
- 医療費や退院後の生活費に困ってしまった。
- 仕事に復帰できるか？



お問い合わせ

上飯田リハビリテーション病院
地域医療連携室 TEL (052) 916-3681

入院の対象となる疾患と発症後または手術後からの日数制限

脳血管疾患（脳梗塞・脳出血・くも膜下出血等）の発症、または手術後2ヶ月以内

大腿骨・骨盤・脊椎・股関節・膝関節の骨折、または手術後2ヶ月以内

外科手術や肺炎等の治療時の安静により生じた筋力等の低下がみられる状態で、発症後、または手術後2ヶ月以内

大腿骨・骨盤・脊椎・股関節・膝関節の神経・筋・靱帯損傷後1ヶ月以内

愛生会からのお知らせ 平成28年1月～3月

日 時		場 所	講 師
糖尿病教室	毎月第1金曜日 10:30～13:30	総合上飯田第一病院 南館8階 会議室	医師・管理栄養士・ 理学療法士
糖尿病バイキング教室	2月・5月・8月・11月 第4木曜日 11:30～13:00		医師・管理栄養士
お問い合わせ・お申し込み／ 総合上飯田第一病院 内科外来		TEL (052) 991-3111	
マタニティヨガ教室 費用 300円	毎週火曜日 14:00～16:00	総合上飯田第一病院 南館8階 会議室	助産師
母乳教室 無料	毎月第1土曜日 10:00～11:30		
母親教室 無料	毎月第1・第3水曜日 13:30～15:30		
ファミリークラス 無料	毎月第1土曜日 13:30～15:30		
安産教室 無料	毎週金曜日 15:00～16:00	総合上飯田第一病院 北館2階 産婦人科外来	助産師など
YYサークル(育児サークル) 無料	毎月第1・第3木曜日 14:00～15:00	総合上飯田第一病院 南館8階 会議室	
※授乳中のママが参加していますので、パパのご参加はご遠慮ください。 対 象 産後2ヶ月～1歳未満の「ママと赤ちゃん」			
お問い合わせ・お申し込み／ 総合上飯田第一病院 産婦人科外来		TEL (052) 991-3111	
介護教室 無料	14:00～15:00 1月 9日(土)「着替え」 2月13日(土)「健康管理」 3月12日(土)「認知症」	上飯田 リハビリテーション病院 1階会議室	介護福祉士・理学療法士・ 作業療法士・看護師など
お問い合わせ・お申し込み／ 上飯田リハビリテーション病院		TEL (052) 916-3681	

看護師・看護補助 募集中

看護学生、現職の看護師の方、病院見学随時受付中です。

お問い合わせは愛生会本部 TEL (052) 914-7071 詳しくはホームページをご覧ください。http://www.aiseikai-hc.or.jp



社会医療法人 愛生会

Aiseikai Healthcare Corporation

理念 信頼され愛される病院

- 一、私たちは、「安心・安全の医療と介護」で地域に貢献します
- 一、私たちは、「地域の救急医療」に貢献します
- 一、私たちは、「地域と共に、人と共に」の心を大切にします

急性期



**社会医療法人 愛生会
総合上飯田第一病院**
●一般病棟(7対1看護配置)
●地域包括ケア病棟
●通所リハビリテーション
名古屋市北区上飯田北町2丁目70番地
TEL (052) 991-3111

診療体制


●内視鏡センター


●腎センター


●甲状腺・内分泌センター


●乳腺センター


●人工関節・関節鏡センター


●健診センター
(人間ドック・各種健康診断)

回復期



**社会医療法人 愛生会
上飯田リハビリテーション病院**
●回復期リハビリテーション病棟
●通所リハビリテーション
名古屋市北区上飯田北町3丁目57番地
TEL (052) 916-3681

慢性期



**社会医療法人 愛生会
上飯田クリニック**
●人工血液透析
名古屋市北区上飯田北町1丁目76番地
TEL (052) 914-3387

看護師養成



愛生会看護専門学校
名古屋市北区五反田町110番地の1
TEL (052) 901-5101

愛生訪問看護ステーション
名古屋市北区上飯田通2丁目37番地CKビル1階
TEL (052) 991-3210

あいせいケアステーション
名古屋市北区上飯田通2丁目37番地CKビル1階
TEL (052) 991-3152

あいせいデイサービスセンター
名古屋市北区辻本通2丁目38番地
TEL (052) 991-3548

愛生居宅介護支援事業所
名古屋市北区上飯田通2丁目37番地CKビル1階
TEL (052) 991-3546

愛生会本部
名古屋市北区上飯田通2丁目37番地
TEL (052) 914-7071

右記のQRコードより総合上飯田第一病院
外来担当医一覧のHPにアクセスできます

Q 総合上飯田第一病院 検索 http://www.kamiida-hp.jp

